

2019 年から 2025 年 10 月までに当院で膵癌と診断された患者さんへ

研究『当院における膵癌 EUS-TA 検体を用いたがん遺伝子パネル検査の現状』実施について

1. 本研究の意義及び目的

膵癌は有効な化学療法も少ないことから予後不良であり、がんゲノムプロファイリング検査（CGP）に期待が寄せられている。しかし、準備した検体が CGP に適さずプロセスに進めなかったり、解析に時間を要し結果開示まで長時間かかる場合があり、この検査の恩恵は必ずしも患者に十分に還元されていない問題が指摘されている。CGP を成功させるためには、特に病院検査部門による検体の管理や取り扱いに注意が必要である。当院で主に EUS-FNB で膵癌と診断され、CGP 検査が画策された症例を後方視的に調査することで、CGP の精度、内視鏡医と病院検査部門の連携の向上を目指す。

2. 本研究の方法

2019 年から 2025 年 10 月までに当院で膵癌と診断された患者さんの臨床データを過去の電子カルテから情報を集め、統計解析します。集める臨床データのうち個人が特定できる情報については番号を付け、匿名化します。

3. 資料などの保存及び使用方法について

集積した資料は施錠可能な保管庫で保存し、本研究以外で使用することはありません。

4. 研究全体の期間と予定症例数

研究機関は当院倫理委員会で承認後 2030 年 10 月末までです。

5. 研究結果の公表について

本研究の成果は国内外の学会で発表し、論文作成をする予定です。

6. 研究の開示について

この研究についてさらに詳しい内容を知りたい方は、申し出ていただくことにより、他の患者さんの個人情報保護やこの研究の独創性の確保に支障がない範囲で研究計画・方法・結果についての資料を見ることができます。

7. 個人情報に関して

個人のプライバシーに関する情報は守られ、個人が特定される事はありません。

8. 本研究への参加を拒否する場合

本研究への参加を拒否される場合は、研究対象から場外いたします。下記 10. 連絡先まで

ご連絡ください。

9. 研究機関, 研究責任者および研究者

研究機関：姫路赤十字病院

研究責任者：内科 高田斎文

10. 連絡先

〒670-8540 兵庫県姫路市下手野 1-12-1

姫路赤十字病院消化器内科 責任医師名 高谷昌宏 高田斎文

TEL 079-294- 2251 FAX 079-296-4050